

# Canon

AI  
バウンス

バウンス角を  
自動で設定

# 世界初<sup>※1</sup> バウンス撮影の 自動化を実現。

AIバウンス搭載スピードライト

NEW

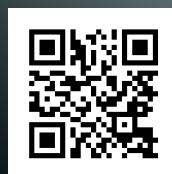
SPEEDLITE  
470EX-AI



2018年4月下旬発売予定

希望小売価格: ¥54,800(ケース付き・税別) 型番: SP470EX-AI 商品コード: 1957C001 JANコード: 4549292-084641  
※ 価格は2018年2月現在のメーカー希望小売価格です。消費税額は含まれておりません。

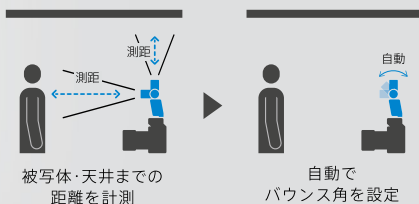
世界初の  
AIバウンスを  
動画でチェック!



## AI BOUNCE [ 2種類のAIバウンス撮影モード ]

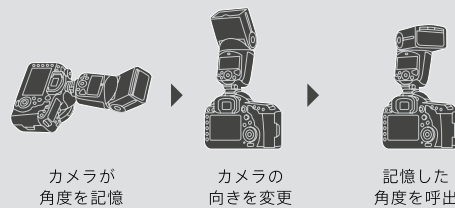
1 | 適切なバウンス角に  
自動設定 [ AI.Bフルオート<sup>※2</sup> ]

これまで手動での角度設定が必要だったバウンス撮影を自動化。スピードライトが被写体と天井までの距離をそれぞれ測り、適切なバウンス角と発光量を全自動で設定。スピードライト初心者でも簡単に、自然なバウンス撮影が行えます。



2 | 手動で設定した角度を  
記憶・呼出 [ AI.Bセミオート ]

手動で設定したバウンス角をスピードライトが記憶。カメラの向きを縦位置から横位置に変えても、シャッターボタンを2回半押しすることで、記憶した角度に自動で設定。バウンス撮影を効率的に行いたい中級者に便利な機能です。



3 | ガイドナンバー  
47

最大ガイドナンバーは47。照射角は24~105mm<sup>※3</sup> (35mm判換算)をカバー。内蔵のワイドパネルを使用することで、焦点距離14mmにも対応。広角レンズ使用時も安心です。

スピードライト  
470EX-AI  
(G No.47/105mm時) 約 11.75m

内蔵ストロボ  
(G No.12/17mm時) 約 3m

※ EOS 80D  
[ ISO100・F4の場合 ]

4 | 広い  
可動領域

バウンス設定角度は上方向120°、左右各180°。広い可動領域で、近距離の被写体にもより適切な角度で光を照射できます。



5 | 優れた  
操作性

見やすい大型ドットマトリックス液晶や、電子ダイヤルを採用。スムーズで素早い設定が可能です。



その他の 特長

- 色温度情報通信機能搭載、ホワイトバランスを調整可能。
- ワイヤレスストロボ撮影を実現する光通信ワイヤレスレシーバー搭載。
- 背景も被写体も適正露出にするE-TTL II/E-TTL自動調光に対応。
- 約W74.6×H130.4×D105.1mm、約385g(電池別)のコンパクト設計。

※1 外部ストロボにおいて。2018年2月25日時点(キヤノン調べ)。 ※2 AI.Bフルオートは、2014年6月までに発売されたレンズ交換式カメラEOSシリーズおよび、EOS Kiss X90、EOS Kiss X80、EOS M6、EOS M5、EOS M3には対応していません。2018年2月25日時点。なお、天井までの距離が7m以上(目安)離れているときや、撮影する角度が上方向約60°、下方向約60°を超えるときは、発光部は自動的に正面に設定されます。その他カメラによって、使用できる機能には制限があります。 ※3 ガイドナンバー47:照射角105mm設定時、ISO100・m(35mm判換算)。 ※ 使用には、単3形アルカリ乾電池4本が必要です。 ※ AIは、Auto Intelligentの略です。

■キヤノンスピードライトのラインアップは、[canon.jp/speedlite](http://canon.jp/speedlite)をご覧ください。 ■お問い合わせ: 050-555-90002(キヤノンお客様相談センター)